

児童発達支援評価表(利用者が事業所を評価) ※集計表※

事業所名:重症心身障害児通園事業所デイサービスセンター幸のついで		保護者数(児童数):5				回収数:3		割合:60%	
配付開始日:令和3年1月		※厚生労働省例示書式						令和3年2月27日集計	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見(※手で抽出する)	ご意見(※手で抽出する)	ご意見(※手で抽出する)	ご意見(※手で抽出する)	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	0	0	1				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	1				
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(i)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	0	0	0				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか	3	0	0	0				
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(ii)が作成されているか	3	0	0	0				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	0	1				
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	0	0	1				
	8 活動プログラム(iii)が固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	0				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会がある	1	1	1	0				
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	0	0	0				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	0	0	0				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(iv)等)が、行われているか	1	0	0	2				
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	3	0	0	0				
保護者への説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	0				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	2	0				
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	0	0				
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	0	0	0				
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	0	0				
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	3	0	0	0				
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練がされているか	3	0	0	0				
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	0	1				
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	1				
	23 事業所の支援に満足しているか	2	1	0	0				

(保護者等の皆様へ)  
 ○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センターまたは児童発達支援事業所を利用しているお父さんやお母さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。  
 「はい」、「どちらでもない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入下さい。

(注釈)  
 i「本人に分かりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人に分かりやすくすることです。  
 ii「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子供について、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するうえでの留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センターまたは、児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。  
 iii「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。  
 iv「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子供の行動を観察して障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

児童発達支援自己評価表(職員が事業所を評価) ※集計表

事業所名:重症心身障害児通園事業所デイサービスセンター幸のついで

対象職員数:10

回収数:10

割合: 100 %

実施日:令和 3年 2月15日

実施者:中平 武志

※厚生労働省例示書式

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など (手で抽出する)	改善目標、工夫している点など (手で抽出する)	改善目標、工夫している点など (手で抽出する)	改善目標、工夫している点など (手で抽出する)
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	6	0	二階を有効に活用できるようにする			
	2 職員の配置数は適切であるか	2	4	4	配置が満たせない時がある。	足りていません。	全力で採用に取り組んでいます、また、採用を重視していきます。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	1	9	0	リフトや昇降機を使用していますが、建物の構造上限度があります			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか。	3	5	2	清潔は衛生的に加え、見た目ももっと綺麗にできるように取り組んでいきます！			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか	0	7	3	みんなで計画を立てるところまで行きたいです。	出来ていません	職員数が確保できれば改善のPDCAサイクルに取り組んでいきます	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	7	1	ご家族との連携は取れていると思います	去年実施したものではありません	去年実施したものではありません	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	9	0	行っていると思うが確認していない。			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	7	3	行っていると思うが確認していない。	行えていません	現時点では該当事案なしですが、今後検討していきます	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1	0	今後も継続していく必要があります。	毎月5回以上社内研修を実施しています		
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	6	0	十分なアセスメントが出来ているとは言えません	アセスメントシートの見直しを検討しています		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	5	1	対象が重心児さんということもあり、標準化というツールが難しいです			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	3	1	出来ている物と出来ていないものがあります。	今後はガイドラインの理解を含める研修を行って支援につなげたいです		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	7	0	特に平日は介助で終わってしまうことが多いです。			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	4	2	チームで計画的にはなく、その日その日の立案になっています。			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	7	2	以前は出来ていましたが、人手不足となってからは不十分です。	職員不足が解消すれば行っていきます		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	2	8	0	介助がメインになっており、計画も十分とは言えません。	改善していきたいです		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	7	1	必ずとはいえない	ITツールを使用して行っています。		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	6	3	必ずとはいえない	ITツールを使用して行っています。		
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	3	0	正しく記録をとることはできていますが、改善につなげるところまでは行っていません。	正しい記録は取れるようになっていますが、その記録を活用できる範囲までは行っていません。	後日確認検証を行うために正しく記録を取ることができています	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	6	0	計画達成に向けて職員間で連携をとってのアプローチが不十分で、同じ内容で計画更新をすることが多いです。	形式的になってしまっています。	今後は多職種での見直しを行えるようにしていきたいです		
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	6	0	報告の質のレベルアップが必要だと感じています。	まだ、担当者会議で何を伝えるべきかという部分で課題があります。		
	22 母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	5	2	重心さんを対象とした研修には参加するように取り組んでいます			
	23 (医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	4	1	ケア会等も含め連携をとるようにしています。			
	24 (医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	3	1	すぐに連絡が取れるように情報の共有を行っています			
	25 移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校(幼稚部)等との間で情報共有と相互理解を図っているか	8	1	1	担当者会やケア会などで情報共有しています。			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	4	0	担当者会やケア会などで情報共有しています。			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	6	1	重心さんを対象とした研修には参加するように取り組んでいます			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会はあるか	0	4	6	重心さんの特性上、難しいケースが多いです。			

保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	3	7	存在を知りません。		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	6	0	業務用の携帯電話や送迎の際に共通理解を得れるように取り組んでいます。		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	5	4	当事業所ではご家族に教えていただくことが多いです		
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	5	0			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	5	0	送迎時等に確認をお願いします等での説明がほとんどになってしまっていますので、今後は変更点なども説明できるようにしていきたいです。		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	7	0	定期的とは言えませんが、多くの職員に携帯電話を支給しており、適宜相談援助はメール等を含めて、できる体制にあります。		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	7	10月に保護者会を予定していましたが、コロナの為に延期しています		
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	4	1	ご利用者様に職員の会社携帯のリストをお渡しして、連携しやすいようにしています。		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	3	0	毎月月刊誌を発行しています。		
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	9	1	0			
非常時等の対応	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	5	0	意思表示ができないお子さんも多いのでいつもと違う様子は保護者さんに伝えるようにしています		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	8	地域住民とのかかわりを求めない保護者さんも多く、積極的には行っていません	地域行事等には職員が積極的に参加し交流や理解を求めように取り組んでいます。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2	4	コロナ禍以降適切に出来ているとは言えません。		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2	5	コロナ禍以降適切に出来ているとは言えません。		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	10	0	0	予防接種は確認できていなかったのので、確認するようにします。		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	1	0	調理の際にもわかるように周知しています		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1	1	ITツールにて共有しています。		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1	0	年一回以上開催しています。		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	4	0	ベッド柵等も身体拘束に含まれる場合があり、この部分があいまいなため十分とは言えません。		